

(仮称) 堺ミュージアム基本構想 (案) についてのご意見の要旨と本市の考え方

No	ご意見の要旨	市の考え方
堺ミュージアムの基本理念と活動方針、想定する取組		
1	<p>私はアルフォンス・ミュシャの作品が好きで、堺市民として年に数回、企画展を鑑賞しています。堺市博物館や堺 アルフォンス・ミュシャ館、ヒストリックカー・コレクションを一体化した博物館を整備しようとしているように見受けられますが、建物や運営体制の一体化はともかく、展示自体は分けてほしいと考えます。ミュシャ作品は主に紙媒体で劣化しやすく、現在のミュシャ館では照明を抑え、展示期間を限定し、年数回の企画展として入れ替えを行っているものと理解しています。新しい博物館になっても、保存の観点から同様の運用は続くと考えられ、その場合、コレクションをすべて鑑賞するには複数回の来館が必要になります。そのたびに歴史展示エリアを通る必要があるとすれば、煩わしく感じます。堺市民として歴史は一定程度理解しており、理想としては、歴史エリアとミュシャの展示エリアを分け、入場券も別にしてほしいと考えます。</p>	<p>アルフォンス・ミュシャの作品は、展示環境や展示期間に十分配慮しながら保存・公開する必要があるものと認識しており、現在、堺 アルフォンス・ミュシャ館でもこの考え方のもと運用しています。</p> <p>(仮称) 堺ミュージアムの整備にあたり、本市が所蔵するアルフォンス・ミュシャ作品の展示エリアについては、上記の考え方を維持しながら適切に保存・展示ができるよう、いただいたご意見を参考に検討を進めます。</p>
2	<p>展示にデジタル技術を活用する方向性は理解しますが、現行案における VR・AR 活用が展示補完の域に留まり、来館動機の創出という観点で十分な独自性を備えていない点が課題です。近年、同様の技術は国内外で広く普及しており、単なる導入のみでは他施設との差別化は困難なことから、「なぜ堺に来るのか」という根本的な動機設計に立脚した体験の再構築が必要と思います。</p> <p>この点に関し、仁徳天皇陵古墳の「内部に立ち入ることができない」という特性を、制約ではなく資源として活用する視点が有効です。つまり、現実では不可能な内部体験を AR 等により実現することで、堺でしか成立し得ない独自の体験価値を創出し、他地域との差別化が図れます。</p> <p>具体的には、複数人同時参加型の没入体験を通じて、来館者が王・后・家臣等の役割を担いながら古墳時代の世界観を体感する構成を想定します。視覚的演出に加え、音響や触覚等の要素を統合することで、</p>	<p>VR・AR を活用した没入型追体験は、学術的な価値理解や博物館の魅力向上、来訪促進の面からも有効な手法であると考えています。</p> <p>(仮称) 堺ミュージアムでは、デジタル技術等の活用を予定しており、堺独自の体験価値の創出につなげます。博物館展示等の具体的内容や手法については、いただいたご意見を参考に検討を進めます。</p>

	<p>現実と仮想の境界を曖昧化し、従来の展示手法を超える没入感を実現するのはいかがでしょうか。また、体験の記録・共有機能を組み込むことで、来館後の情報発信を促し、集客効果も期待できます。</p> <p>このように VR・AR 技術の活用は、導入を目的化するのではなく、堺固有の歴史資源に基づく「ここでしかできない体験」の設計を重視すべきだと思います。堺ミュージアムの競争力強化に資する具体的方向性を示すアイテムとして位置付けるべきだと思います。</p>	
3	<p>堺にゆかりのある作家の顕彰や作家に関連する市民参加型ワークショップの開催、「刃物のまち堺」に多い姓の歴史探訪企画等、堺の歴史を深く知る取組を実施することは、「「ここに来れば堺がわかる」知の集積の場を創る」上で大きな意味があるものと考えます。</p>	<p>(仮称)堺ミュージアムにおいては、従来の堺市博物館等の活動に加え、本市の特性を活かした展示やワークショップ等の開催、歴史文化遺産の周遊体験の創出等を想定しています。今後も身近な視点から堺の歴史文化の魅力を発信します。</p>
4	<p>堺市博物館のボランティアとして活動する中で、堺市民の強い郷土愛を感じる一方、展示だけでは堺の歴史や考古学的価値が十分に伝わっていない現状に課題を感じている。須恵器や中世堺の歴史等、誇るべき展示も、ガイドによる解説があつて初めてその重要性に気づかれる場合が多い。堺ミュージアムは、専門知識の有無にかかわらず、市民が「自分の故郷はすごい」と感動し、郷土愛を育める場であってほしい。</p>	<p>(仮称)堺ミュージアムでは来館者に堺の歴史文化についての学びを深めていただけるよう、デジタル技術等を活用した展示をはじめ、その背景も含めて多面的に学び、探求心を育むプログラムの構築等を進めます。</p> <p>加えて、博物館ボランティアガイドによる丁寧な解説は、これらの展示との相乗効果により来館者の満足度向上に資するものであり、市民の郷土愛の醸成や、堺の歴史文化に対する正しい理解の促進につながるものと認識しています。</p> <p>今後も博物館ボランティアガイドをはじめとする多様な主体と協力し、(仮称)堺ミュージアムの運営や活動を支援いただける体制を整えたいと考えています。</p>
5	<p>堺と言えばふとん太鼓だと思います。堺のふとん太鼓は、大阪代表で前の万博に出場していて、堺のふとん太鼓が全国的に有名だったと知りました。堺のふとん太鼓の歴史、貴重な堺型のふとん太鼓の展示、パネル等の常設や特別展・企画展等もするべきだと思います。</p> <p>堺に、ミュージアムがないのが残念だと思っています。</p>	<p>堺市博物館ではふとん太鼓の魅力や価値への理解を深めていただくため、常設展示場において2基のふとん太鼓を展示し、百舌鳥八幡宮月見祭の映像を上映しています。</p> <p>ふとん太鼓は、堺を代表する伝統的な祭礼文化であり無形文化遺産の一つであることから、(仮称)堺ミュージアムにおいても調査研究に基づいた展示紹介が必要であると考えています。</p> <p>その魅力や価値への理解をより一層深めていた</p>

		<p>だけるよう、いただいたご意見を参考に展示手法等について検討を進めます。</p>
6	<p>ふとん太鼓は堺発祥説が有力なのに、それに関する施設が堺に無いのは残念です。前の万博では大阪代表として、今回の万博では堺代表として出場しています。堺型のふとん太鼓は貴重な物で旧市の八朔祭の歴史も古く、元々堺の商人が作って売っていて、祭りにも出すようになっていったという歴史を知れば面白いし、なぜだんじりでは無くふとん太鼓になっていったのか、その歴史も学べる場所があればいいと思います。常設展示も特別展示も無いのは残念です。</p> <p>パネル展示等の特別展やイベント展示等もするべきだと思います。</p>	<p>No. 5 の回答と同じ。</p>
7	<p>秋になれば堺のまちは、どこからともなく太鼓が聞こえてきます。それはこのまちの生命力そのものであり、私たちの隅田太鼓会は、その文化を絶やすことなく、次の世代、そして全国へと伝えていきたいと願っています。今回の新構想において提案したいのは、100 年以上の時を刻んできた「旧太鼓台」の常設展示です。</p>	<p>ふとん太鼓は、堺を代表する伝統的な祭礼文化であり無形文化遺産の一つであることから、（仮称）堺ミュージアムにおいても調査研究に基づいた展示紹介が必要であると考えています。その魅力や価値への理解をより一層深めていただけるよう、いただいたご意見を参考に展示手法等について検討を進めます。</p>
8	<p>大浜飛行場の水上飛行艇初号機のレプリカに使用された木製プロペラを譲り受け所有しているが、今後の収集方針に照らして寄贈・展示の対象となるか、また近現代史展示への活用可能性があるかを検討してほしい。</p>	<p>本市の近現代史において、大浜の水上飛行場は重要な要素の一つだと認識していますので、展示内容等について検討を進めます。</p>
9	<p>（仮称）堺ミュージアム基本構想（案）は、整備目的から基本理念、活動方針、想定する取組までが市の上位施策とも関連づけて整理されていると理解しています。一方で、「ここに来れば堺がわかる」を前提に、その結果として堺のブランド力向上やまちへの愛着の醸成につながる、博物館としての最終目標（使命）をより明確に位置づける必要があると考えます。</p> <p>あわせて、基本理念（5）の「社会課題」と活動方針（11）（12）の位置づけや、「博物館運営」との関係が分かりにくいいため、考え方や文言の整理を求めます。</p> <p>また、「安全・安心」は他の理念にも共通する要素であることから、基本理念の配列についても見直しを検討</p>	<p>（仮称）堺ミュージアムの整備は、堺市基本計画 2030 の重点戦略「堺の特色ある歴史文化」の取組として位置づけられており、都市のブランド力の向上を図り、新たな誘客や交流を生み出すことを使命としています。</p> <p>文化審議会の「博物館法制度の今後の在り方について（答申）」の中で、博物館に今後必要とされる機能として、社会的包摂・多文化共生への寄与、地域社会の活性化等があげられますが、そのためには持続可能な活動と経営の改善向上が必要とされています（※）。この答申を踏まえ、基本理念（5）の「社会課題と向き合う」に関する活動方針として、（11）「社会経</p>

	<p>すべきと考えます。</p>	<p>済情勢の変化に対応した博物館運営を展開する。」を掲げました。</p> <p>また、活動方針（12）は「すべての人が訪れやすい博物館をめざす」ことを意図しており、運営以外の要素も包含しますので「博物館運営」を「博物館」に改めます。</p> <p>基本理念（4）の「安全・安心」は、人だけでなく資料・作品にも安全安心であることを意図していますので、独立した基本理念として位置づけています。基本理念（1）から（4）の実現を通して、基本理念（5）「社会課題と向き合う」という考え方で、基本理念を配列しています。</p> <p>※「博物館法制度の今後の在り方について（答申）」（2021年12月20日 文化審議会）</p>
10	<p>「堺市博物館」「堺 アルフォンス・ミュシャ館」「ヒストリックカー」「所蔵美術作品」が整理されていることから、これらの機能や収蔵資料を堺ミュージアムへ統合する方向で検討されているものと認識しています。その方向性については、保存環境や展示機能を向上させ、堺の魅力を総合的に発信する拠点整備につながるものと期待しています。その上で、統合に当たっては、すべてを同列に扱うのではなく、「堺の歴史・文化・産業との関連性」や「堺らしさを市民や来訪者に伝えられるか」という観点から、展示や活用の優先順位を明確にすることが重要だと考えます。ヒストリックカーについては市との一定の関係性は認められるものの、堺の歴史や文化を中核的に示す資料とは言い難く、展示の位置づけには慎重な検討が必要だと思います。限られた展示空間や運営費を踏まえ、堺固有の歴史文化資源を優先すべきと考えます。一方、ミュシャ作品は国際交流等、堺独自の関わりを有しており、今後も重要な位置づけとすることが望ましいと考えます。</p>	<p>（仮称）堺ミュージアムは、堺市博物館や堺アルフォンス・ミュシャ館等の機能を集約することで「類いまれな堺の歴史文化資源が一堂に会することで新たな魅力や価値が生み出され、ここに来れば堺がわかる」施設の整備を進め、保存環境や展示機能の向上を図ります。堺の魅力を分かりやすく、また効果的に発信する等、大きな意義があると認識しています。</p> <p>堺市ヒストリックカー・コレクションも含め、（仮称）堺ミュージアム全体の展示構成との整合性や堺らしさといった観点を勘案し、いただいたご意見を参考に展示内容や手法等について検討を進めます。</p>
11	<p>○建て替えは必要だと思うが無理のない計画にすべき 老朽化により建て替えが必要であることは理解していますが、人口減少や税収減少が見込まれる中で、過度に費用をかけるべきではないと思います。現在の場所で改修等により、長く維持できる身の丈に合った施設にしてほしいです。</p>	<p>（仮称）堺ミュージアムの整備に当たっては、整備費用や整備・運営手法等、様々な観点から十分な検討を重ね、本市にとって最適なミュージアムとして整備を進めます。</p> <p>堺市ヒストリックカー・コレクションは本市が所有する貴重な資源であることから、（仮称）堺ミュー</p>

	<p>○堺らしさをたいせつにしてほしい。海外企業の PR 施設はいらない</p> <p>ヒストリックカー、特に BMW の展示については、堺市が公費で海外企業の PR を行う必要はないと思います。堺には歴史・文化・産業等、誇れるものが多くあるので、新しいミュージアムでは堺の魅力を伝える内容に力を入れてほしいです。</p> <p>○作品の受け入れは慎重に。増やしすぎると維持が大変</p> <p>寄付作品をむやみに受け入れると、維持管理や保管の負担が大きくなります。堺市の財政を考えると、量より質を重視すべきだと思います。</p> <p>○ミュージアムはできるだけ自立した運営にしてほしい</p> <p>新しいミュージアムを整備するのであれば、市の財政負担をできるだけ抑え、自ら収入を確保できる運営をめざしてほしいです。建てて終わりではなく、継続できる仕組みを考えてほしいです。</p> <p>堺がもっと暮らしやすくなることを願っています。</p>	<p>ジアムの展示全体の構成等を踏まえてその位置づけについて整理します。</p> <p>資料の寄贈について、堺市博物館開館以来、資料収集方針に基づき計画的な収集を行っており、基本的な方向性は維持しながら、本市の歴史文化の保存や活用につながる資料を精査の上、適切に収集します。</p> <p>管理運営手法について、施設の役割や規模、求められる専門性等を踏まえ、安定的な運営が可能となる利用料金の考え方や収支バランス等について検討を進めます。</p>
12	<p>SNS で若い世代に訴求できるミュージアム施策として以下 2 点を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュシャの世界観を取り入れた雑貨ブランドとコラボし、堺市所蔵のミュシャ作品を使ったハンカチやポーチ等、女性が日常使いできる堺ミュージアム限定グッズを制作・販売すること。 ・飲食や写真撮影が可能な自由な空間を設け、ミュシャ作品をあしらったドリンクカップで抹茶系ドリンクを提供する等、写真映え・SNS 映えする空間を創出すること。 <p>従来の枠にとらわれない、自由で楽しいミュージアムづくりによって、若い世代を取り込み、堺の街を盛り上げてほしいです。</p>	<p>アルフォンス・ミュシャ作品を活用した（仮称）堺ミュージアム限定グッズの制作や、飲食・写真撮影が可能な空間での堺ならではの体験の創出は、若い世代に堺の歴史文化を身近に感じてもらう有効な取組であり、本基本構想（案）における「魅力向上をめざした資料の活用」や「効果的な情報発信」の方向性とも合致するものと考えます。</p> <p>いただいたご意見は、資料保全等を前提としながら、若年層を含む幅広い来館者に親しまれるミュージアム活動を検討する上での参考とさせていただきます。</p>
13	<p>○基本理念(1) 博物館は、①歴史文化資料の収集、②調査研究、③魅力ある常設展示（定期的な更新）、魅力ある企画展や特別展の企画・実施という流れで運営されると思います。そうすると、<想定する取組>において、③に対する言及が弱い気がします。</p> <p>③に関しては、年度をまたいだ中長期的な構想力や企画力が必要となりますので、ぜひ、その点について基</p>	<p>本基本構想（案）では、収集・保管及び調査研究の一連の過程の中に展示を位置づけています。ご意見のように魅力ある常設展示や企画展・特別展を行うためには、中長期的な企画は重要であり、現在も数年先を見据えた調査研究を実施し、展示計画を立てています（仮称）堺ミュージアムの展示の構成等については、基本</p>

	<p>本構想でも明記してはどうでしょうか。</p> <p>○基本構想(2)「価値を内外に発信する」大切さを説いておられるので、ぜひ、施設・設備の部分では、ICT 展開も意識した「博物館ホール」の整備をお願いしたい。現に「みはら歴史博物館」には、それなりのホールがあります。堺ミュージアムには必要不可欠な設備だと思えます。</p> <p>○基本理念(3) 本文中で「社会教育・学校教育の拠点」という表現を使っておられますが、これは「学校教育や市民の生涯学習の拠点」という表現にした方が良いのではないのでしょうか。また、大学等の高等教育機関も堺市内もしくは市に隣接して存在するし、「日本と世界が出会うまち・堺」プロジェクトでは博学連携として大阪大学との連携協定の枠内での事業展開を進めているので、高等教育機関との連携・協働も明記してはいかがでしょうか。</p>	<p>計画策定の中で検討を進めます。</p> <p>また、博物館ホールの整備については、基本計画の策定段階において、必要となる諸室機能を整理し、検討します。</p> <p>さらに、基本理念（3）本文中の「社会教育・学校教育の拠点」については、市民以外の主体や高等教育機関との連携・協働についても積極的に推進する方向であることから、ご指摘の趣旨を包含し、より広範な利用を想定した、「社会教育・学校教育の拠点」という表現を用いています。</p>
14	<p>本構想について、堺ミュージアムは単なる資料保存の場ではなく、世界遺産を核に堺の「本物」の価値を最新技術と体験によって高め、国内外から来訪者を呼び込む施設として位置づけるべきだと思えます。「公共施設は安価であるべき」という考えにとらわれず、体験価値に見合った価格設定により、持続可能な収益を確保することが重要だと思えます。</p> <p>具体的には、百舌鳥古墳群を AR・VR で体験できるコンテンツ、ミュシャコレクションを活かした没入型空間、ヒストリックカーや伝統産業、祭礼文化を体験できる展示等、堺ならではの資源を核とした体験型コンテンツを充実させることで、幅広い来館者層に訴求できると考えます。</p> <p>また、ファミリー層や若年層、インバウンドを意識したワークショップや夜間開館、多言語対応、教育機関との連携、周辺施設との連携等、ソフト面の取組も重要だと思えます。あわせて、半日から一日滞在できる魅力ある施設とし、入館料や体験料、物販、カフェ等による収益確保を図ることで、財政面でも自立した運営が可能になると考えます。</p> <p>さらに、建設や運営に当たっては、民間のノウハウを活用する手法を検討し、堺ミュージアムが「堺のすべてを</p>	<p>本市は世界遺産である百舌鳥古墳群をはじめ魅力ある歴史文化資源を有していることから、（仮称）堺ミュージアムでは、堺市博物館や堺アルフォンス・ミュシャ館等を集約することで「類いまれな堺の歴史文化資源が一堂に会することで、新たな魅力や価値が生み出され、ここに来れば堺がわかる」施設の整備を進めています。</p> <p>展示による発信にとどまらず、（仮称）堺ミュージアムの特色を活かした体験プログラムの提供、交流の場としての機能、飲食・休憩機能等を備えることにより、国内外からより多くの方に堺の歴史文化の魅力を知っていただくことができる施設をめざしています。また、デジタル技術等を活用して学びを深め、（仮称）堺ミュージアムを起点に市民や観光客が市内の周遊や観光を楽しめる仕掛けをつくります。</p> <p>いただいたご意見を参考に展示内容や手法、整備・運営手法等について検討します。</p>

	<p>体験できる拠点」として、市民に誇りをもたらし、堺を観光の目的地として高める役割を果たすことを期待しています。</p>	
15	<p>○ 堺市立歴史文化にぎわいプラザ（さかい利晶の杜）について</p> <p>基本構想（案）や資料編において、利晶の杜について十分な説明がなく、その位置づけが分かりにくいと感じました。文化館として運営されていたミュシャ館や与謝野晶子記念館の経緯もある施設であるにもかかわらず、本構想の中で説明がないのは理解できません。利晶の杜が堺市博物館の分館なのか、市立みはら歴史博物館とどう違うのか等、堺ミュージアム基本構想の中で、市民に明確に説明する必要があると思います。</p> <p>○ ミュシャコレクションについて</p> <p>ミュシャコレクションが世界的に重要で、次世代に継承すべきものであることは理解しますが、堺市が所有し続けることがコレクションのためにも市民のためにも適切なのか疑問に思います。これまで十分に活用されてきたとは言えず、多額の市費が投じられてきたにもかかわらず、市民に対する納得のいく説明がされていないと感じています。なぜミュシャコレクションが堺市にあるのか、その経緯や今後の方針について、市民に分かりやすく説明する必要があると思います。</p> <p>○ 公開承認施設について</p> <p>堺ミュージアムを新たに整備するのであれば、登録博物館だけでなく、公開承認施設についても最初から計画すべきだと思います。重要な展覧会を開催できないのであれば、ミュージアムを整備する意味がないと感じます。また、公開承認施設の認定を受ける際には、ヒストリックカー等堺市との関係が分かりにくいコレクションの扱いについても整理が必要だと思います。</p> <p>○ 新しいミュージアムに関する情報提供について</p> <p>建設方法や立地、図書館との複合化等、さまざまな情報が錯綜しており、市民への説明が十分とは言えないと感じています。今後は、堺ミュージアムや図書館について、しっかりとした構想のもと、場所も含めて市民にオープンに議論してほしいと思います。</p>	<p>さかい利晶の杜は千利休と与謝野晶子の先人顕彰を目的とする施設、堺市立みはら歴史博物館は美原区が誇る文化財である黒姫山古墳と河内鋳物師の専門館と位置づけており、堺市内の歴史系総合博物館としての堺市博物館とのすみ分けを行っています。本基本構想（案）は、（仮称）堺ミュージアムの整備に関するものであり、これら2つの施設は、活動方針（8）で歴史文化関連施設と位置づけています。</p> <p>アルフォンス・ミュシャコレクションの取得経緯は、株式会社ドイの創業者である故土居君雄氏が収集したアルフォンス・ミュシャ作品を寄贈いただいたことがきっかけです。作品構成はポスターや油彩画、素描や宝飾品等、世界有数の体系的なものとなっています。今後の方針については、本市の歴史文化資料及びアルフォンス・ミュシャ作品をはじめとする美術作品を一元管理することで、従来にない多彩な展示や体験活動の提供に取り組みます。</p> <p>公開承認施設については、本基本構想（案）に明記しているとおり、登録博物館とあわせて開館当初から承認を受けることをめざしており、（仮称）堺ミュージアムが、未来へ継承すべき資料に責任を持ち、安全に管理する必要から重要なことと認識しています。</p> <p>また、堺市ヒストリックカー・コレクションは本市が所有する貴重な資源であることから、（仮称）堺ミュージアムの展示全体の構成等を踏まえてその位置づけについて整理します。</p> <p>（仮称）堺ミュージアムの整備に当たっては、市民の皆さまにご意見をお伺いしながら基本計画の策定を進めます。</p>
16	<p>堺市に新しく博物館ができることはとても楽しみです</p>	<p>（仮称）堺ミュージアムでは、「ユニバーサルミュ</p>

	<p>が、耳に障害があるため、十分に楽しめる施設になるのか心配です。昨年の万博では、音声による説明が中心で、内容が分からず、楽しめる施設がほとんどありませんでした。事前に障害のある人の意見を聞いたとされているものの、実際には反映されていないと感じました。</p> <p>堺市の新しい博物館では、そのようなことがないよう、音声だけに頼らない分かりやすい展示や配慮をしてほしいです。</p>	<p>ージウムの整備」や「多様な人々に対応する展示」、「インクルーシブな教育・普及・連携」をめざし、すべての人が理解しやすく安心して楽しめる施設となるよう検討を進めます。</p> <p>（仮称）堺ミュージアムの整備に当たっては、いただいた意見を参考に、音声案内のみに頼らず、文字や映像、視覚情報等を組み合わせた展示となるよう十分配慮します。</p>
17	<p>堺ミュージアム構想に関する資料を一通り読んだが、何をしようとしているのか、どこに何をしようとしているのかが分かりにくく、ビジョンが見えてこないと感じました。歴史資料と美術品を連動させようとしていることは理解できますが、芸術やアート、文化とは何か、それが市民生活にどのような価値を持つのかという、堺市としての理念が示されていないように思います。理念がないままでは、歴史資産や美術資産も活かされないと感じました。</p> <p>また、箱をつくることよりも、人材、とりわけ学芸員等、博物館に関わる人材を大切に、十分な予算を確保すべきだと思います。まず理念を明確にし、市民との対話を重ねながら構想を作り上げていく必要があり、各区でミーティングやワークショップを行うことも検討すべきだと思います。</p> <p>あわせて、堺能楽会館を堺ミュージアム構想に組み込むべきだと思います。能楽会館はこどもたちの文化体験やインバウンド誘客にも有効であり、短期的な収支だけでなく、長期的な都市の文化形成の観点から活かしてほしいと思います。</p> <p>さらに、堺市博物館と堺アルフォンソ・ミュシャ館を統合するのではなく、歴史博物館と美術館は別に整備すべきだと思います。堺には伝統と現代をつなぐ作家や文化資源があり、市立美術館を含めた多様な文化拠点を整備する余地があると思います。</p> <p>環濠エリアについては、既存の文化施設や町家、寺社等と連動させ、自転車で回れるミュージアムタウンとして活用できる可能性があると考えます。最後に、市民の感覚と乖離しないよう、情熱をもって市民と対話し、協</p>	<p>（仮称）堺ミュージアムの整備は、堺市基本計画2030の重点戦略「堺の特色ある歴史文化」の取組として位置付けられており、都市のブランド力の向上を図り、新たな誘客や交流を生み出すことをめざしています。（仮称）堺ミュージアムの基本理念については、「ここに来れば堺がわかる」知の集積場を創る」を筆頭に5つの理念を設定しました。本市は世界遺産である百舌鳥古墳群をはじめ魅力ある歴史文化資源を有していることから、（仮称）堺ミュージアムでは、堺市博物館や堺 アルフォンソ・ミュシャ館等を集約することで「類いまれな堺の歴史文化資源が一堂に会することで、新たな魅力や価値が生み出され、ここに来れば堺がわかる」施設の整備を進めています。</p> <p>（仮称）堺ミュージアムの整備予定地は本基本構想（案）にお示した通り、世界遺産 百舌鳥・古市古墳群の主要な構成資産である仁徳天皇陵古墳の周辺が最適であると考えています。多くの方に来館いただくことにより、世界遺産エリアの活性化や魅力向上に寄与できるようにします。</p> <p>また、質の高い博物館活動を継続するため、調査研究・展示企画、普及啓発等の専門性を有した学芸員を配置します。さらに、外部との協働や地域連携、博物館教育等に精通しコーディネートする能力に長けた人材も必要と考えています。</p> <p>（仮称）堺ミュージアムの整備に当たっては、市</p>

	働でミュージアムをつくってほしいと思います。	民の皆さまにご意見をお伺いしながら基本計画の策定を進めます。堺能楽会館は、移設や維持管理の費用等から（仮称）堺ミュージアムの構成施設として組み入れることは困難ですが、ご指摘の趣旨であることもたちの文化体験やインバウンド誘客等に向けて、堺の特色を活かした体験プログラムの提供や歴史文化資源を活かした周遊・誘客等に取り組みます。
18	<p>大阪・松竹座が全面解体されると聞きましたが、そのファサードを堺ミュージアムに移築できないでしょうか。松竹座は大阪の凱旋門とも言える存在であり、そのファサードを活かすことで、堺ミュージアムの文化的価値や魅力が高まると思います。ミュシャとの相性もよさそうですし、あわせてクラウドファンディングを実施すれば、松竹座のファサードを残したい人から支援が得られるのではないのでしょうか。松竹座ファサードの御朱印のような取組もできれば嬉しいです。</p> <p>また、堺市にゆかりのある作家がたくさんいるため、小説を書いてもらったり、句碑のようなものを設置したりできないでしょうか。</p> <p>さらに、堺は刃物のまちであり、刀剣男士の役者の出身地でもあることから、有名な刀剣と連動した企画や、刀剣男士とのコラボレーションを検討できないでしょうか。</p>	<p>（仮称）堺ミュージアムが堺に関する歴史文化や美術作品を計画的に収集・保管・展示する施設として位置づけていること、また立地や景観、保存管理等の観点から、松竹座のファサードを（仮称）堺ミュージアムに移築することは困難と考えます。</p> <p>一方で、多様な主体との連携、参加型の取組を通じて魅力を高めるというご提案は、本基本構想（案）で示す「魅力向上をめざした資料の活用」や「効果的な情報発信」と方向性を同じくするものです。基本計画や事業検討の段階において、堺ゆかりの作家や文化資源、アルフォンス・ミュシャ作品等を活かした展示・表現方法や情報発信の工夫等について検討を進めます。</p>
堺ミュージアムの機能を実現する施設・設備と立地		
19	どの施設も駐車場の必要性和、少なくとも1時間無料サービスを設ける事で、利用率は断然アップすると思います。	<p>来館者の利便性確保は重要な視点である一方、（仮称）堺ミュージアムの整備に当たっては、世界遺産である百舌鳥古墳群の保存や周辺環境への配慮、交通負荷の抑制といった観点も踏まえる必要があります。そのため、公共交通機関の利用による来館を促す施設のあり方を基本として検討しています。</p> <p>整備予定地である仁徳天皇陵古墳の周辺は、JR 阪和線百舌鳥駅から徒歩圏内で移動可能であるため、公共交通の利用促進や分かりやすい動線整備等を進めることで、来館者の利便性向上を図ることが重要であると考えています。</p>

20	<p>いろいろなところに行くのは大変なので、施設や機能を集約する計画はとても良いと思います。一方で、立地については、南海トラフ地震の際の浸水想定区域や、市街地における延焼の影響等、防災面を考慮していただきたいです。また、現在の堺市博物館周辺は長閑で良いですが、交通の便には少し難があると感じました。</p> <p>集約する場合には、焼失や盗難のリスクもあると思うので、施設間は徒歩圏内、または南海バスやJR等で一駅程度の範囲で移動できると良いと思います。</p> <p>また、一箇所にとめることで入館料が上がり、入りづらくなるのではないかと不安も感じました。</p> <p>観光の視点では、大阪市内や新大阪、関西空港からの移動時間が長くなりすぎると集客につながらないと思うため、堺区や北区周辺が望ましいと思います。また、金岡公園や大泉緑地公園、大仙公園等、市内の大きな公園を活用し、分散した施設を定期的なバスでつなぐ形も良いと思います。</p> <p>堺アルフォンスミュシャ館に伺いましたが、展示やミュージアムショップはとてもよく、入館しやすい金額で素晴らしいと思いました。</p>	<p>施設の集約に当たっては、利便性の向上だけでなく、災害リスクや周辺環境、交通アクセス、施設の安全性等を総合的に考慮することが重要であると認識しています。特に、南海トラフ巨大地震を想定した浸水や延焼のリスク回避は立地を検討する上で重要な視点の一つとしています。</p> <p>（仮称）堺ミュージアムの整備予定地を世界遺産である百舌鳥古墳群の主要な構成資産である仁徳天皇陵古墳の周辺とすることで、世界遺産エリアの活性化や魅力向上に寄与すると考えています。また、JR 阪和線百舌鳥駅からも徒歩圏内で移動可能であるため、公共交通の利用促進や分かりやすい動線整備等を進めることで、来館者の利便性向上を図ります。</p> <p>展示内容、ミュージアムショップのあり方、市内拠点施設との周遊手段の考え方等については、いただいたご意見を参考に検討を進めます。</p>
21	<p>アルフォンス・ミュシャの作品を大仙公園または利晶の杜、環濠エリア内で見られるようにして欲しい。</p>	<p>本市が所蔵するアルフォンス・ミュシャ作品については、（仮称）堺ミュージアムへの集約を予定しています。整備予定地は世界遺産である仁徳天皇陵古墳の周辺が最適と考えています。環濠エリア内には、さかい利晶の杜をはじめとした歴史文化施設が複数ありますので、アルフォンス・ミュシャ作品を活用した連携も検討します。（仮称）堺ミュージアムは、本市内における歴史文化関連施設の中核館として、関連施設をつなぎ、価値を共に創り出します。</p>
22	<p>このミュージアムを長く運用・活用するためには、どうやって人を呼び込むかが重要だと思います。私自身や周りの友人は博物館や資料館にあまり行きませんが、忙しい日常の中でも「行きたい」と思える動機が必要だと思います。例えば子どもが遊べるコーナーや体験できる設備、美味しいカフェの併設、エンターテインメント性のある要素等があると良いと思います。堺のものづくりや歴</p>	<p>（仮称）堺ミュージアムを将来にわたり継続的に運営するためには、幅広い世代にとって「行ってみたい」「また行きたい」と思える施設であることが重要と認識しています。</p> <p>このため、展示を通じた歴史文化の発信に加え、子どもやファミリー層が楽しめる体験メニューや居心地の良いカフェ、交流スペース等、多様な来</p>

	<p>史・文化の紹介だけで終わってしまうと、リピートにつながりにくく、ファミリーや子どもにとって、休日に行きたいと思える施設にしていきたいです。</p>	<p>館者のニーズに応じた来館の動機となる要素や機能の充実についても、いただいたご意見を参考に検討を進めます。</p>
23	<p>ミュージアム構想に大賛成です。堺には歴史と文化の遺産がたくさんあるにもかかわらず全く活用されていないことに不満でした。現在の堺 アルフォンス・ミュシャ館は市外から鑑賞に来られた方からも残念な意見ばかりでした。国内のみならず外国からの観光客を誘致する為にも堺能楽会館等も移設しミニコンサートや落語、新能や古典芸能等を開催すれば集客があると思います。また、古典芸能の教室も行われれば普段接する機会がない方にも身近に感じてもらえると思います。現在の博物館を含め歴史、文化に分けて国内海外の観光客を誘致し中にはカフェ、レストラン等も楽しめる複合的な施設にして欲しいです。</p>	<p>本市は世界遺産である百舌鳥古墳群をはじめ魅力ある歴史文化資源を有していることから、（仮称）堺ミュージアムでは、堺市博物館や堺アルフォンス・ミュシャ館等を集約することで「類いまれな堺の歴史文化資源が一堂に会することで、新たな魅力や価値が生まれ、ここに来れば堺がわかる」施設の整備を進めています。</p> <p>堺能楽会館は、移設や維持管理の費用等から（仮称）堺ミュージアムの構成施設として組み入れることは困難ですが、ご指摘の趣旨である歴史文化資源を活かした周遊体験の創出等に取り組みます。（仮称）堺ミュージアムでは、国内外から多くの方にお越しいただけるよう、展示による発信にとどまらず、文化芸術に触れる機会の提供や、体験・交流の場としての機能、飲食・休憩機能等を備えることにより、より多くの方に堺の歴史文化の魅力を知っていただくことができる施設をめざしています。</p> <p>基本計画や事業検討の段階において、いただいたご意見を参考にし、検討を進めます。</p>
24	<p>堺市は、仁徳天皇陵をはじめとする世界遺産を有し、歴史文化都市として国内外に誇るべき資源を有しており、大仙公園一帯は、その価値を発信する中核拠点として重要な位置にあると考えます。一方で、堺市博物館の老朽化や、堺市が保有する文化資産の活用不足により、堺の歴史・文化の魅力が十分に伝わっていない状況にあると感じています。</p> <p>このような状況を踏まえ、堺の歴史・文化資源をより効果的に発信する拠点として、ミュージアムの在り方を見直す必要があると考えます。</p> <p>つきましては、以下の事項について要望します。</p> <p>一、「博物館」から「ミュージアム」への転換と堺市の顔づくり</p>	<p>本市には、世界遺産である百舌鳥古墳群をはじめとする多様な歴史文化資源が存在しており、これらの魅力の発信が重要と認識しています。（仮称）堺ミュージアムは、「類いまれな堺の歴史文化資源が一堂に会することで、新たな魅力や価値が生まれ、ここに来れば堺がわかる」施設として、類いまれな歴史文化の継承・発信・連携の拠点となるよう整備を進めます。</p> <p>また、本基本構想（案）の基本理念（3）でお示した「歴史文化でひとをつなぎ出会いを生み出す」ことをめざします。</p> <p>中央図書館センター機能等、他の公共機能との複合化、施設の機能構成や具体的な整備</p>

	<p>単なる展示施設ではなく「体験・交流・滞在」を融合したミュージアムとして再構築し、堺市の象徴となる文化拠点として整備すること</p> <p>一、所蔵資産の戦略的活用による集客力の強化 クラシックカーやアルフォンソ・ミュシャ作品等の既存資産について、専用展示や国際水準の企画展を展開し、国内外から人を呼び込む核とすること</p> <p>一、親子が集う図書館機能の導入による地域文化の醸成 こども連れの親子が安心して滞在できる空間設計とし、読み聞かせ、交流、カフェ機能を備えた「滞在型図書館」として整備することにより、日常的に人が集う文化拠点とすること</p> <p>一、滞在型、高付加価値空間の創出 世界遺産周辺の環境と調和した低層、分散型の宿泊機能を導入し富裕層を含む来訪者が「時間を過ごす」ことに価値を見出す滞在型観光を実現すること</p>	<p>内容、周辺環境との調和、滞在や周遊に関わる考え方のほか、堺市ヒストリックカー・コレクションやアルフォンソ・ミュシャ作品の展示内容については、いただいたご意見を参考に検討を進めます。</p>
25	<p>これまで大阪女子大跡地がミュージアムの建設予定地であると自治会に説明されていたと聞いていますが、その認識で間違いはないのでしょうか。そのために、一部の住宅地を相場より高値で買収したように思われますが、もしこの跡地にミュージアムを建設しないのであれば、無駄な投資になるのではないかと感じます。</p> <p>また、貴重な税金を使って買収した住宅地や大阪女子大跡地について、今後どのように活用するのかが分かりません。ミュージアムの建設地については、市民への説明会を開いたうえで決めるべきだと思います。</p> <p>もし大阪女子大跡地に建設しないのであれば、税金の無駄使いとして、住民監査請求を検討せざるを得ないと考えています。</p>	<p>整備予定地は世界遺産である仁徳天皇陵古墳の周辺が最適と考えています。具体的な場所については、他の文化資源・観光資源との相乗効果や整備費用等の観点から検討を進め、地元への説明を丁寧に行います。</p>
26	<p>主に立地に関する意見です。資料に示されているミュージアムの建設予定地については、上町断層地震の影響を強く受ける可能性があり、安全・安心の観点から大反対です。断層のずれがどこまで想定されているのかわからず、基本理念に掲げる「安全・安心」とはかけ離れていると感じます。この立地では、ブランド力を育むことも難しいと思います。</p> <p>立地については、仁徳天皇陵古墳周辺が最適とされ</p>	<p>上町断層帯地震の際の影響が大いことは認識しており、本基本構想（案）においても「安全・安心な環境整備」を掲げています。地震への備えや防災対策については専門的な知見を踏まえて検討を進めます。世界遺産である仁徳天皇陵古墳の周辺には、既存の文化施設や観光資源も集積しているため、堺の歴史文化の魅力を発信する拠点として最適と考えています。環濠</p>

	<p>ている理由が分かりにくく、私としては環濠エリアのほうが良いと考えています。環濠エリア全体が、重要伝統的建造物群保存地区に準ずるような価値を持つまちとなってほしいと思いますし、世界遺産と同じ場所に集約すると周遊性が生まれにくくなるのではないかと感じます。百舌鳥夕雲町周辺の土地利用や、将来的な建設時期についても疑問があります。</p> <p>また、基本構想の中で利晶の杜等、環濠エリアの施設が十分に取り上げられていない点や、アルフォンス・ミュシャと与謝野晶子の関係性を踏まえた施設配置等についても、市民に分かりやすい説明が必要だと思えます。</p> <p>あわせて、堺市が自転車や路面電車のまちであることを踏まえ、自転車やクラシックカー等を総合的に扱う博物館の可能性を検討する余地があると思えます。堺市博物館と中央図書館の一体化には賛成であり、その際には無理なく多人数が利用できる講堂を設けてほしいです。</p>	<p>エリアにもさかい利晶の杜や堺市立町家歴史館、堺伝匠館等、歴史文化関連施設があるため、(仮称)堺ミュージアムを起点に市内の周遊を楽しめる仕掛けを検討します。</p> <p>また、自転車文化振興を目的に設置されたシマノ自転車博物館とも引き続き連携を行います。</p> <p>(仮称)堺ミュージアムは、本市における歴史文化関連施設の中核館として関連施設をつなぎ、価値を共に創り出します。</p> <p>また、建設時期について、堺市博物館は開館から40年以上が経過していることを踏まえると、早期に整備を進める必要があります。</p> <p>資料保管や講堂等の機能、設備については中央図書館と共通する部分があるため、中央図書館センター機能等との複合化も視野に入れて検討します。</p>
27	<p>建設予定地を「旧大阪女子大学跡地」として検討しているとされていることについて意見します。貴重な資料や遺物を保管・展示する博物館は、自然災害等による喪失や破損のリスクをできる限り避けられる場所に設置すべきだと思えます。</p> <p>現在検討されている旧大阪女子大学跡地は、想定される南海トラフ地震による津波被害区域外ではあるものの、標高が約15メートルであり、想定外の災害の可能性も考慮すると、より標高の高い泉北ニュータウン地区等への設置が望ましいと思えます。</p> <p>次の候補としては、大仙公園敷地内の最南東部が標高25メートル程度あることから、より適しているのではないのでしょうか。また、旧大阪女子大学跡地に建設する場合であっても、盛り土等により、可能な限り地盤を高くした上で建設されるべきだと思えます。</p> <p>これらの考え方は、同様に貴重な資料を保管する中央図書館にも当てはまるため、(仮称)堺ミュージアムとあわせて、隣接した安全性の高い場所への移転立地が望ましいと思えます。</p>	<p>貴重な資料等を保管・展示する施設として安全性の確保が重要であることは認識しており、本基本構想(案)の想定する取組(9)においても「安全・安心な環境整備」を掲げています。</p> <p>上町断層帯地震による影響等を踏まえて、地震への備えや防災対策については専門的な知見を踏まえて検討を進めます。</p> <p>中央図書館を含む文化施設の安全性についても、同様に重要な視点であると認識しており、引き続き、資料の適切な保存環境や災害時の安全性確保に配慮しながら、整備の検討を進めます。</p>

28	<p>堺市博物館、アルフォンソ・ミュシャ館、ヒストリックカー、所蔵美術作品が抱えている課題を解決し、それぞれの魅力を十分に発揮させるためには、大阪女子大学跡地に世界に誇れるミュージアムを新たに建設すべきだと考えます。現在の博物館をリニューアルするだけでは狭く、状況は何も変わらないのではないかと感じています。そのため、博物館のリニューアルには反対です。</p>	<p>整備予定地は世界遺産である仁徳天皇陵古墳の周辺が最適と考えています。他の文化資源・観光資源との相乗効果や整備費用等の観点から検討を進めます。</p> <p>なお、本基本構想（案）の中で、（仮称）堺ミュージアムで想定する取組を実施するために必要な機能を8項目掲げており、（仮称）堺ミュージアムの整備に当たっては、これらを実現するための施設面積を確保することが必要と考えています。</p>
管理・運営方針		
29	<p>分散している堺の魅力を集約するのはとても良いことだと思います。時間が限られる中で案内する場所が多く、十分に堺の魅力を伝えきれなかった経験から、世界遺産の近くにある大仙公園周辺に集約することで、堺の良さを伝える利便性が向上するのではないかと考えます。</p> <p>また、公園内にある中央図書館の老朽化は著しく、そろそろ限界ではないでしょうか。自転車博物館跡地と併せて、一体型でデザイン性に優れた公共建築とすることで、市民サービスの向上にも資する計画になると考えます。</p>	<p>本市は世界遺産である百舌鳥古墳群をはじめ魅力ある歴史文化資源を有していることから、（仮称）堺ミュージアムでは、「類いまれな堺の歴史文化資源が一堂に会することで、新たな魅力や価値が生み出され、ここに来れば堺がわかる」施設の整備を進めており、仁徳天皇陵古墳の周辺での整備を検討しています。</p> <p>堺市博物館や堺 アルフォンソ・ミュシャ館、中央図書館においては、老朽化や資料保存環境等の課題があります。貴重な堺の歴史文化資源を未来に継承し、質の高いサービスを提供するため、堺 アルフォンソ・ミュシャ館はもとより、中央図書館センター機能等との複合化を含めた公共施設の適正な管理運営について、検討を進めます。</p>
30	<p>指定管理者制度により管理者を選定する場合、応募条件をどのように策定し、十分な運営準備ができる期間を確保できるのかが気になります。また、指定管理期間については、短期的ではなく長期的な視点とし、指定管理者の負担にならない金額設定とするのか、入札の場合に最低価格を重視するのかが疑問があります。あわせて、将来的な施設運営において、近隣への配慮として衛生面や治安面、活気のあり方をどのように考えているのか知りたいです。さらに、条例第3条に關係する料金について、どのように決めるのか、採算面を含めた計画がどのように考えられているのかが気になります。</p>	<p>（仮称）堺ミュージアムの管理運営手法について、現時点では決定しておらず、施設の役割や規模、求められる専門性等を踏まえ、検討を進めます。</p> <p>仮に指定管理者制度を導入する場合においては、応募者が十分な準備を行えるスケジュールの設定、運営能力や実績等を重視した選定方法、安定的な運営が可能となる指定管理期間や条件を検討することが重要であると認識しています。</p> <p>観覧料の考え方、収支バランスについても、管理運営手法の検討と併せて、検討を進めます。</p>

31	<p>民間のミュージアムも組み入れてほしい（シマノ自転車博物館やコンペイトウミュージアム等）</p>	<p>シマノ自転車博物館等の民間ミュージアムは、それぞれが高い専門性や魅力を有しており、本市の文化や産業を伝える重要な施設であると認識しています。一方で、（仮称）堺ミュージアムは、これまで博物館が収集・保存してきた貴重な所蔵資料に加えて、アルフォンス・ミュシャ作品等、本市が所蔵する類いまれな歴史文化資源を集約し、保管・展示する拠点として位置づけています。</p> <p>このため、民間ミュージアムを（仮称）堺ミュージアムの構成施設として直接組み入れることは想定していませんが、それぞれの特色を活かしながら、展示や情報発信、周遊促進等において連携を図ることにより、本市全体の魅力向上につながります。</p>
----	--	---